



令和2年1月10日  
練馬区立光が丘春の風小学校  
ひかりルーム No. 9

### ～ご家庭で取り組めること～

現在ひかりルームで行っているトレーニングの中には、毎日継続するとより効果的なものがあります。そこで、ご家庭で取り組める簡単なトレーニングをいくつかご紹介します。お子様の課題に合わせて、必要と思われるものをぜひお試しください。

#### <読み書きが苦手>

音読がたどたどしい、特殊音節（「しゃ」など）の綴りを書き間違える、字を思い出すのに時間がかかるなどの苦手さが見られる。

#### ●五十音の熟達

##### 1. 聴覚法を用いた五十音熟達

五十音の暗唱ができる読み書きが楽になる子供たちは少なくありません。ご飯を食べる前やお風呂に入っている時などちょっとしたタイミングで試してみてください。手順は下記のようにありますが、五十音の暗唱練習を毎日するだけでも効果があります。

- 【手順】①五十音（あ～ん）を流ちょうに暗唱する。②ひらがな五十音を流ちょうに書く。  
③カタカナ五十音を流ちょうに書く。

##### 2. アプリの活用 “ディスレクシア音読指導アプリ 単音直音統合版”

五十音の読みを熟達させ、スムーズな音読ができることを目指していくプログラムを用いたアプリです。練習結果の記録ができ、ゲーム感覚で取り組むことができます。単音直音の読み上げが流ちょうになった児童向けに“ディスレクシア音読指導アプリ 単語版ビギナー”、“ディスレクシア音読指導アプリ 単語版チャレンジャー”もあります。ただ、五十音を練習するよりもこのようなアプリを活用すると取り組みやすくなります。

#### <言語の理解力が弱い>

作文が書けない、話が分かりにくい（前提や主語がない）、文章の読解ができないなどの苦手さが見られる。

#### ●前提を話す練習

私たちは、これから何についての話をするのか、という話の前提がなければ相手に伝えたいことが上手に伝わりません。毎日の会話の中で次の点を意識して子供たちと話をしてみてください。初めはこちらから質問をすることで流れの通りに話す練習をしてみるといいです。

##### 【分かりやすい話し方のコツ】

- ①始めに何の話をするか相手に伝える → 一番大きなこと（したこと）

「今日の運動会のことなんだけど」

- ②細かい話をする。 → 次に大きなこと（したことの中でのできごと）

「ぼくね、50メートル走とダンスと玉入れと大玉ころがしに出たんだよ。」

- ③付け加えの話をする。 → できごとの詳しい説明

「それでね50メートル走で、なんと2位だったんだよ！大玉ころがしでは、黄色組のぼくたちが1位だよ！練習では1回も1位になれなかったからすごく嬉しかった！」